

中山間地域等直接支払事業については、事業主体組織である釧路太田集落および中山間浜中・別寒辺牛集落との連携を密にしながら、地域に根ざした効率的な事業展開を支援します。

また、多面的機能支払事業についても、事業主体組織である釧路太田広域保全活動組織との連携を密にしながら、地域の共同取り組みを支援します。

さらに、釧路太田畜産クラスター協議会で計画している乳製品加工施設の整備など、6次産業化や高付加価値化の取り組みを支援します。

家畜防疫については、家畜伝染病の発生予防のため、引き続き予防注射や伝染病検査を支援するとともに、農場周辺での消毒の徹底や関係者以外の立入制限など、飼養衛生管理の指導と啓発に努めます。

また、バイオマスプラントによる家



畜ふん尿の有効利用に向けた検討を進めるなど、環境との調和に配慮した農畜産物の生産を目標とする環境保全型農業を推進します。

町営牧場については、引き続き預託牛の適正な育成管理のもと、牧場運営経費の節減と、なお一層の飼養管理技術の向上に努めます。本年度は、良質な粗飼料の確保を図るため、道営事業によりセタニウシ団地の草地整備を引き続き進めるほか、粗飼料の保管施設を建設するとともに、衛生管理の向上を図るため隔離牛舎の整備に向けた実施設計を行います。

町有林については、造林事業の安定的な事業量の確保により、林業労働者の雇用の安定を図るとともに、森林の多面的機能の発揮を図りつつ、持続可能な循環型林業を確立するため、計画的な森林施業を進めます。

私有林については、引き続き、民有林振興対策事業および森林整備地域活動支援交付金事業を継続します。

林業担い手対策としては、就労の長期化・安定化の促進と林業労働力の確保を図ることを目的として実施している森林整備担い手対策推進事業を引き続き実施します。

町民の森植樹祭については、町民参加の森づくり事業として、本年度も支援します。

また、国や北海道など関係機関と連携を図り、木質バイオマス資源の活用に関する検討を行うとともに、引き続き、森林資源利活用事業を実施し、町

子育て支援については、子育て支援策の基本的な方向性と主要施策を示す『厚岸町子ども・子育て支援事業計画』に基づき、各種施策を推進しながら、町単独事業である子育てお助けブックの配付、出産祝金の支給、妊婦健康診査通院費の助成を継続します。さらに、高額な費用が伴う特定不妊治療に対して、その費用の助成を新たに実施するほか、平成27年度に国の交付金を活用して実施した第2子以降の保育料の2割助成は、町の単独事業として継続します。

保育所については、耐震診断の結果や施設の老朽化と児童数の推移を踏まえた施設整備の検討を進めます。



有林内の林地残材を堆肥センターの水

分調整材などに活用します。

しいたけ生産については、しいたけ価格の低迷や資材の高止まりなどにより厳しい経営環境が続いていることから、可能な支援策を検討します。さらに、生産者の組織化を図るために必要な支援を行うとともに、新規着業者の募集を継続しながら、生産者と連携し受入支援に努めます。

道東地域の景気は、着実に持ち直していると言われるものの、厚岸町においては十分に実感できていないのが現状です。

このような中、第一次産業や製造業、観光業などで取り込んだ財貨を可能な限り町内で循環させる『域内循環』を促進しながら、地域経済の中核を担う中小企業の振興を図るため『厚岸町中小企業振興計画』の着実な推進に、厚岸町商工会と連携しながら取り組みます。

また、子ども子育て支援法に基づく特定教育・保育施設に移行する町内の幼稚園に対し、運営に必要な給付を行います。

福祉医療制度については、子育てを行う家庭の経済的支援として、小学生までの医療費を無料化します。

町民の皆さんの健康づくりについては、『第2期みんなすこやか厚岸21』に基づき事業を推進し、町民一人一人が生涯にわたり主体的な健康づくりに取り組めるよう、ライフステージに合わせた各種事業について周知・啓発に努め、健康増進に向けた意識の高揚を図ります。

保健予防サービスについては、生活習慣病の予防と疾病の早期発見のため、各種健康診査やがん検診の勧奨を積極的にに行い受診率の向上を図ります。

感染症対策については、各種感染症に対する危機管理意識向上のための周知と予防接種の勧奨を行うとともに、新たに追加される日本脳炎予防接種の円滑な推進に努めるほか、平成27年度に策定した『厚岸町新型インフルエンザ行動計画』に基づき、発生に備えた準備を進めます。

町立厚岸病院の役割は、町民の皆さんの命と健康を支える中核的な医療機関として、慢性疾患を中心にした心のかよった『かかりつけ医』による医療の提供を行うことです。

また、公立病院として民間の医療機関が行わない地域における高度な医療や、不採算とされる小児医療と24時間

また、厚岸町商工会や金融機関と連携して事業者の設備運転資金の需要に応じた制度の見直しを検討し、町の融資制度をはじめとする各種公的資金の周知と有効な活用促進に取り組みます。

さらに、本年10月に蒸留を開始する厚岸ウイスキー蒸溜所の運営に関し、町としてできる支援を行い、まちの活性化に資するよう取り組みます。

観光については、道東自動車道の延伸や、台湾や中国と釧路を結ぶ航空チャーター便の増便など、釧路地域における観光客の増加が期待できる環境が整ってきています。これを機に、一層の観光客誘致を図るため、釧路町・厚岸町・浜中町広域観光推進協議会などとの連携強化による広域観光情報の発信と観光関連のガイドの育成・活用、大学との連携による魅力ある観光地づくりに取り組みます。

観光情報の発信にあたっては、厚岸町公式キャラクターの『うみえもん』を活用して道内外の観光・物産イベントなどで積極的な発信に努めるほか、町や厚岸観光協会のホームページによる新鮮で魅力的な情報発信に努めます。

厚岸道立自然公園の国定公園化については、厚岸湖における公園内の地種区分の変更に向けた取り組みを、厚岸漁業協同組合などの関係機関・団体と調整しながら進め、早期実現に努めます。

厚岸味覚ターミナル・コンキリエについては、マスメディアでの情報発信や首都圏・関西方面での誘客活動など



の救急医療などの確保に努めます。

地域医療の存続には、診療体制の維持が最も重要なことから、通年で医師確保を最重要課題として取り組み、内科3人、外科1人、小児科1人の3科常勤医師5人体制の維持に努めます。さらに医科大学をはじめ、関係医療機関との連携を密にし、継続した医療提供体制の構築に努めます。

整形外科と脳神経外科の専門外来は、釧路市内の総合病院との連携を継続します。

また、町立厚岸病院の将来を担う人材を確保するため、医師、薬剤師、看護師などを目指す者に対しての支援策を検討します。

入院病床については、一般55床を全科で効率的な利用を図り、急性期患者から慢性期患者までのさまざまな病態の患者の受け入れに対応します。

また、専門的治療が必要とされる患

やさしさあふれ健やかに安心して暮らせるまちづくり

本年度から本格的に取り組む『厚岸町未来創生総合戦略』においては、子